

# さたけ散歩

第10号

◇次号予告◇

次回のテーマは「白鳳仏が安置される武蔵野の古刹 深大寺」

東京都調布市深大寺元町を特集します。



鬼太郎茶屋と水木しげるの世界 調布





天神通り商店街 (東京都調布市)



建物の一階は昔懐かしい駄菓子屋風の店内となっており、妖怪グッズがところ狭しと並び、また妖怪喫茶も設けられています。ちなみに妖怪喫茶では、一反もめんの茶屋サンデー・目玉おやじの栗ぜんざい・ぬり壁のみそおでん等ユニークなメニューとなっています。



京王線調布駅北口の天神通り商店街(東京都調布市布田一丁目)。布田天神社(ふだてんじんじゃ)の表参道にあたる天神通り商店街はアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」やNHKの連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」等で知られる水木しげる氏ゆかりの地となっています(地図①)。商店街には鬼太郎をはじめ数多くの妖怪たちのモニュメントが置かれています(写真左上、上、左)。なお、布田天神社はいまから約1940年前に創建された多摩地方有



「その昔はどこにでも妖怪はおった」という「水木しげるの世界」は第二の故郷でもある調布市に忠実に再現されています(出身は鳥取県境港市)。



2階は“癒しのデッキ”となっており、眼下には深い緑に包まれた亀島弁財天池が広がり、都内とは思えないような自然を満喫することができます(写真左)。

東京都調布市深大寺元町五丁目にある鬼太郎茶屋は、日本三大だるま市の一つ「深大寺だるま市」で知られる深大寺(じんだいじ)の門前にあります(地図②)。「ゲゲゲの鬼太郎」のテーマは“自然との共存”と言われています。人間や妖怪・動物・昆虫など地球上に生存する全て



調布市ミニバスには「鬼太郎バス」という愛称が付けられ、鬼太郎に登場するキャラクターのイラストがラッピングされています。なお、京王線仙川駅発着の鬼太郎バスには外装だけでなく、料金箱に目玉オヤジのステッカーが貼られているのです。



■ アクセス  
京王線調布駅北口より京王バス〈三鷹・吉祥寺方面行〉に乗車、深大寺入口バス停下車、徒歩5分



調布を歩いて

平成20年3月、水木しげる氏は漫画を通じてそれまでの調布市への貢献や文化の興隆などから、調布市より「名誉市民」の称号が贈られています。さらに水木氏の奥様である武良布枝(むらぬのえ)さん原作の「ゲゲゲの女房」がNHKの連続テレビ小説(平成22年3月～同年9月)で放送されたことにより、調布は「ゲゲゲのまち」として全国的に知名度がアップしました。